

表千家北山会館 特別展

千家十職

樂家の茶碗

―極められた赤と黒の美―

平成22年10月9日〔土〕――12月19日〔日〕

◎開館時間 9時30分―16時30分（入館は16時まで）◎会期中、月曜日休館（但し、10/11〔月：祝〕と11/22〔月〕は開館、10/12〔火〕と11/24〔水〕は休館◎入館料 一般1,000円／大学生・高校生800円／中学生以下無料／団体（20人以上）800円／呈茶含む＊障害者手帳を、呈示のお客様及びその介護者1名は無料です。◎主催 表千家北山会館・京都新聞社◎後援 京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・NHK京都放送局・京都市内博物館施設連絡協議会



表千家北山会館

<http://www.kitayamakaikan.jp>

千家十職のなかで、代々樂焼の本流を伝え、手捏ね(てねね)の茶碗づくりを生業としている家が樂吉左衛門家です。

樂家の始祖は、あめや(飴屋・飴也・阿米也)と呼ばれた帰化人で、一説には瓦師であったと伝えられています。この飴也の子が初代長次郎です。長次郎が千利休(宗易、1522～91)と出会い、天正年間(1573～92)中頃から利休の創意を受けて茶碗をつくりはじめ、樂焼が誕生しました。

樂茶碗は、轆轤(ろくろ)を用いない手捏ねという独特の成形法でつくられます。黒茶碗は大窯のように一度に多くを焼成せず、小規模な内窯で一碗ずつ焼き上げます。手捏ねによる造形は作者の個性がよくあらわれ、手の温もりやつくり手の心までをも伝えます。利休は、長次郎が自分のわび茶の精神を具現化できる人物とみて制作を依頼し、赤と黒という装飾性を排した色と手捏ねによる半筒の形で世の中に新しい茶の造形を示しました。

樂茶碗が最初に用いられるのは、当時の茶会記である『松屋

会記』によると天正14年(1586)で、「宗易形ノ茶ワン」と表現され、つづいて「今焼」「聚樂焼」などと呼ばれていました。樂茶碗と呼ばれるようになるのは、利休が秀吉に仕えたのち樂家が二代常慶(じょうけい)になってからです。

以来400年以上の時間が流れますが、長次郎が京都のどこで樂焼をはじめたかは定かでなく、現在の土上区油小路中立売上ルに居を構えたのは、三代道入の時からといわれています。樂焼の歴代については、一般には初代を長次郎、二代を常慶とし、以後十四代までは隠居名で呼ばれ、二代常慶以降十五代(当代)までは代々が襲名して吉左衛門と称しています。

樂茶碗は茶の湯のために、茶人が自らデザインする茶碗の始まりでもありました。

今展覧では歴代の作品を通覧し、その美と技にふれていただき、あわせて千家との交流を伝える掛物などを通して400年を超える樂家の歴史にも目を向けていただきたいと思います。



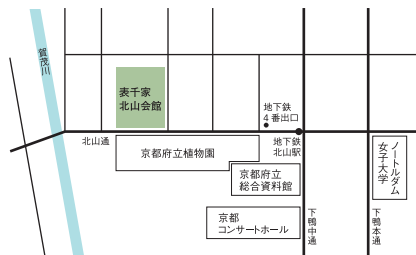
1. 葵御紋白樂茶碗 三代 道入 作
 2. 黒樂茶碗 銘 稲妻 三代 道入 作
 3. 黒樂茶碗 銘 禿 初代 長次郎 作
 4. 赤樂茶碗 銘 鶴 三代 道入 作 (三井記念美術館蔵)
- 表面：黒樂茶碗 銘 面影 初代 長次郎 作

表千家北山会館 特別展

千家十職 樂家の茶碗 ——極められた赤と黒の美——

平成22年10月9日[土]—12月19日[日]

◎JR京都駅より|地下鉄国際会館行「北山駅」下車(所要時間16分)
4番出口を西へ徒歩約5分|タクシー約30分
◎阪急電車|「四条烏丸駅」下車 地下鉄乗り換え「北山駅」下車
◎京阪電車|「三条駅」地下鉄乗り換え「烏丸御池」乗り継ぎ
「北山駅」下車|「出町柳駅」下車タクシー約15分



表千家北山会館

〒603-8054 京都市北区上賀茂桜井町61
TEL. 075-724-8000 FAX. 075-724-8007
<http://www.kitayamakaikan.jp>

◎開館時間＝9時30分—16時30分(入館は16時まで)

◎会期中、月曜日休館(但し、10/11[月・祝]と11/22[月]は開館、10/12[火]と11/24[水]は休館)

◎入館料＝一般1,000円/大学生・高校生800円/中学生以下無料/団体(20人以上)800円/呈茶含む
*障害者手帳をご呈示のお客様及びその介護者(1名)は無料です。

主催＝表千家北山会館・京都新聞社

後援＝京都市・京都市教育委員会・京都市教育委員会・NHK京都放送局・京都市内博物館施設連絡協議会

「茶の湯文化にふれる市民講座」メインテーマ「樂家の茶碗—その美と歴史—」

◎10月23日[土]「樂焼を楽しむ」……………貫名 義隆氏(表千家)

◎11月 6日[土]「和物茶碗—心の自由の所産—」……………林屋 晴三氏(東京国立博物館 名誉館員/樂美術館 理事)

◎11月20日[土]「樂歴代 受け継がれた茶の湯の心」……樂 吉左衛門氏(千家十職 茶碗師)

◎12月 4日[土] 鼎談「樂焼創世 樂茶碗に見るその美と歴史」

樂氏・赤沼多佳氏(三井記念美術館 参事)・熊倉功夫氏(静岡文化芸術大学 学長)

時間＝14:00—16:00 定員＝1回200名 参加費＝2,000円(1回/呈茶、特別展の見学を含む)
電話で事前に申し込みが必要です(先着順)。詳細は表千家北山会館までお問い合わせください。

